



幼稚園の修了（卒園）おめでとうございます。

今年になってからは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、蔓延防止等重点措置がずっと熊本県にも出ていました。やっと21日に解除されそうです。

そんな中、幼稚園には登園自粛の要請が発令され、園の行事・子ども達の日々の活動も危ぶまれる日々でした。いるか組さんの幼稚園での生活、最後の3学期は、寂しいことになるのではないかととても心配しました。

しかし、保護者の皆様のご協力により、修了式が無事行えそうです。

いるか組の子ども達とは、私がこの楠幼稚園に来て2年間一緒に過ごしました。前日、子ども達が「えんちょうせんせいありがとう」プレゼントを持ってきてくれた時、「〇〇してくれてありがとう」と一人ひとり私に伝えてくれました。ほとんどの子が、「遊んでくれてありがとう」でした。沢山子ども達と遊ぶ事ができました。良かったなと思います。

子ども達と一緒に遊んだことで、色々なものに興味を示し、発見し、成長していく姿を近くで見れ、感じる事ができました。毎日心がポカポカでした。

3月に入り、いるか組の子ども達が担任の先生と修了式の練習をしているのを見ながら、大きくなったな、立派に立ち振る舞いをしているなど感心していました。また、ここ数日はその練習の中に入って、証書渡しを実際に行い、子ども達の立ったり座ったりのタイミングを凶る練習も一緒にしていました。あまり感情移入しないで参加するのがポイントです。子ども達の姿を見ると、なぜかしらその姿がかすんでいってしまうのです。

小学校では、幼稚園とは違う生活が始まり、楽しいことも沢山あると思います。なんといっても教科の勉強があります。これまでより多くの人にも出会います。社会が広がっていく中で、幼稚園で培った、自分の気持ちを表現する力を発揮してほしいと思います。誰にでも優しく、誰とも仲よく遊び、色々なものに興味を持ち、自分から考え行動してほしいと思います。

子ども達の輝かしい未来を思い、今日はしっかり子ども達の姿を目に焼き付けたいと思います。



最後になりますが、保護者の皆様とは朝からのお迎えの時等において色々なお話をすることが、私にとっての楽しいひと時でした。いつも温かく、ご支援していただき本当にありがとうございました。名残惜しいですが、今日でお別れとなります。

いるか組のお友だち、そして各ご家庭の末永いお幸せを祈念いたしております。

